

工業

教 科	科 目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
工 業	にはま学Ⅰ	2	2年次・D2	選 択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
別子銅山 近代化産業遺産 八十八か所 ふれあいめぐりあいガイドブック (新居浜南高校ユネスコ部)		とっておきの新居浜検定テキストブック 編著者：新居浜検定事業運営協議会 発 行：新居浜商工会議所		・フィールドワークが多く教員の車で移動 ・夏季休業中に、新居浜検定、別子銅山産業遺産創造塾の受講などがある。 ・一般の方も受講される場合がある。

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
・別子銅山の近代化産業遺産から現在のものづくりに至る工都新居浜の歩みをたどる中で、様々な活動を通して新居浜の魅力を発見させるとともに、市外にも視野を広げ、持続的発展可能なまちづくりについて学ばせる。 ・新居浜市主催別子銅山産業遺産創造塾を受講し、修了させる。またその学びを生かしたまちづくり活動を実践させシビックプライドを育ませる。 ・SDGs達成を目指す近代化産業遺産を生かしたまちづくりプラン（プロジェクトマネジメントプラン）を作成させる。		
評価の観点及びその趣旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
・別子銅山や新居浜の歴史的・文化的価値や現状を理解し知識を身に付けており、他の学習や生活の場面に応用できる技能を身に付け、実践で生かすことができる。	・修得した知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現し、実践している。	・主体性を持ち多様な人々と協働して自らの学習の調整も適切に行い、粘り強く学ぶ態度を身に付けている。

2 学習計画と観点別評価項目

	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
学 習 の 年 間 計 画	1 学 期	別子銅山	別子銅山を知る	4	・別子銅山の始まりを知る。	1
			・別子銅山の歴史		・別子銅山の歴史的意義を理解する。	
		新居浜	別子銅山の近代化産業遺産	5	・江戸幕府を支えた別子銅山の役割を理解する。	1 2 3
			・世界に知られた鉱山		・東アジアの貨幣経済と別子銅山の関係を知る。	
			・我が国の産業革命を雄弁に物語る近代化産業遺産		・オランダの商館長に贈呈された「鼓銅図録」の意義を探究する。	
			・21世紀の環境問題を先取りした近代化産業遺産		・広瀬幸平とフランス人鉱山技師ラロックの招へいの意義について理解する。	
			新居浜のまちとものづくり	6	・採鉱、運搬、製錬の近代化について知る。	1 2 3
			・都市計画を物語る近代化産業遺産		・遠町深舗と別子大水害について知る。	
			・新居浜の現状と地方創生		・伊庭貞剛と鈴木馬左也による煙害問題解決への挑戦を理解する。	
			・新居浜のものづくり		・鷲尾勘解治と白石菅二郎の新居浜都市計画を知る。	
			・新居浜から世界を観る	7	・「別子末期の経営」「新居浜後栄策」「共存共栄」の理念を理解する。	
			・地域共創と国際協力			

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

		まちづくり	新居浜のまちづくり ・まちづくり活動実践 ・まちづくりの提案	9	・新居浜市長期総合計画について知る。 ・新居浜市総合戦略について理解する。 ・新居浜市のシティプロモーション戦略について知る。 ・新居浜のまちの現状について知る。 （市民や国際交流の視線を通して） ・地域共創について国際協力の視点から考える。	1 2 3					
	2 学 期						10	・ものづくりのまち新居浜のなりたちについて知る。 ・住友グループと地元中小企業群について理解する。 ・別子銅山記念館、端出場・東平地区でのフィールドワークを通して、別子銅山の全体像を理解する。 ・広瀬歴史記念館・旧広瀬邸でのフィールドワークを通して、広瀬幸平の人間像を理解する。 ・星越地区・山田社宅・惣開地区でのフィールドワークを通して、都市計画の現状を理解する。 ・住友化学歴史資料館、日暮別邸記念館でのフィールドワークを通して、別子銅山の環境問題克服の歴史を理解する。			
									3 学 期	11	・※新居浜市別子銅山産業遺産創造塾と連携した学びを行う。 ・地域でのまちづくり活動を行う。 小中学校への出前授業を実践する。 観光ガイドへ挑戦する。
				1	・プロジェクトマネジメントプランを発表できる。						
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能		2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度					
	規 準	・別子銅山・近代化産業遺産の歴史的意義や新居浜の都市計画のビジョンについて理解し、プロジェクトマネジメントプランを計画的に作成できているか。		・別子銅山の近代化産業遺産や新居浜の魅力、新居浜のものづくりについて自ら考え、自らの言葉で発表、情報発信できているか。		・別子銅山や新居浜に関心を持ち、学習活動に積極的に参加しているか。 ・ステークホルダーなどと協働しながら未来志向で自ら評価し改善しようとしているか。					
	手 段	・定期考査 ・ワークシートの作成 ・作成されたプラン		・定期考査 ・課題の内容		・参加の仕方や態度 ・課題やノートの提出					
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と、学期末の総括を行い評価する。								
学習上の留意点	・授業での理解を確実なものとするため、予習・復習を行うこと。 ・別子銅山関連施設や新居浜市などの企画展示会の見学、市主催の別子銅山産業遺産創造塾を受講するなど、積極的に参加し、本物に触れる体験を行うこと。 ・新居浜市および関連のホームページや市政だよりなどに目を通し、新居浜市の現状に目を向けること。										